

りようあない
利用案内

がいがんじ がん
胆嚢腫瘍

午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

きゅう がん ひ
休 館 日

げつようび　ねんまつねんし　こくみん
月曜日・年末年始・国民の
ほくじつ　にちようび　か
祝日（日曜日と重なった
ば　あい　かいがん　げつようび　か
場合は開館、月曜日と重
な　ば　あい　よくじつ
なった場合はその翌日も
きゅうかん
休館）

※ 展示替え、資料室燻蒸などの臨時休館あり

かん らん りょう
第 四 水

一般	100円
小中学生	50円

（20名以上の団体は2割引。ただし特別展については別料金）

※品川区内の小・中学生、70歳以上の方、障害のある方は無料



しながわ れき し かん
品川歴史館

古紙を配合した紙を使用しています。



スタンプをおしてみよう

品川区立 品川歴史館
〒140-0014 東京都品川区大井6-11-1
TEL: 03-3777-4060
FAX: 03-3778-2615

品川歷史館

検索



※^{てんじ}展示によって^{はいち}配置が^か変わることがあります。

品川歴史館を建てる時に見つけた！

おお い か しま い せき
大井鹿島遺跡

川^{しほ} 歴^{れき} 史^し 館^{かん} を 建^た て て い た 昭^{しょう} 和^わ 58年
(1983) 8月^{がつ}、 地^ち 面^{めん} の 下^{した} 約^{およ} 1~2mの
と^{ところ} か^ら、 約^{およ} 1400~1200年^{ねん} 前^{まえ} の、 古^{ふる}
墳^{ふみ} 時^{とき} 代^{だい} か^ら 奈^な 良^ら 時^{とき} 代^{だい} の 家^{いえ} の 跡^{あと} (堅^か 穴^{あな} 式^{しき} 住^{すま} 居^ぐ
跡^{あと}) が 発^は 見^{けん} さ^れ ま^し た。 そ^の 後^ご、 約^{およ} 3ヶ^け 月^{げつ} か
け^て 発^は 掘^{くわ} 調^{てう} 査^さ を し^た と^{ころ}、 26軒^{けん} の 建^た 物^{ぶつ} の
跡^{あと} と、 土^つ 師^し 器^き と い^う 土^つ 器^き の か^め や 碗^{わん} な^ど が 見^{けん}
つ^か り^ま し^た。

大井鹿島遺跡の土器と大森貝塚から見つ
 かった縄文土器のがたちや使い方、食べ物の
 違いを調べてみましょう。



おおい か し ま い せきじゆうきょ あと ふくげん
大井鹿島遺跡住居跡 (復元)

がいえんじ かん
開園時間

通常：午前9時～午後5時
夏季（7～8月）：午前9時～午後6時
冬季（11～2月）：午前9時～午後4時

- ① 縄文体験広場 じょうもんたいけんひろば
 - ② モース広場 もーすひろば
 - ③ 波のオブジェ なみのオブジェ
 - ④ 縄文の広場 じょうもんひろば
 - ⑤ 貝塚学習広場 かいづかがくしゅうひろば
 - ⑥ 貝層標本 かいそうひょうぽん
 - ⑦ 大森貝塚碑 おおいもりかいづかひ

品川歴史館から歩いてすぐ！

おおもり かいづか いせきていえん
大森貝塚遺跡庭園

明治 10 年 (1877) E・S・モース博士は汽車の窓から貝塚を発見しました。この貝塚が大森貝塚です。同年、日本で初めて科学的な発掘調査が行われ、日本考古学がここから始まりました。

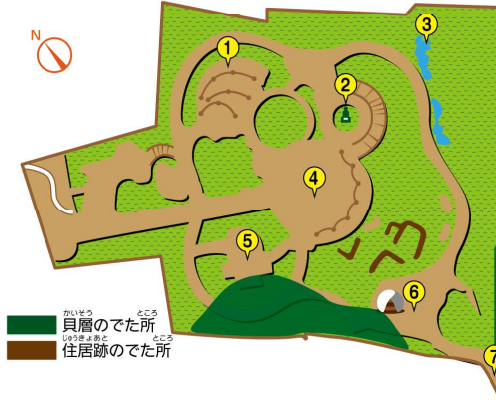
その後、昭和4年（1929）に大森貝塚碑
が建てられました。また、品川区はモース博士
が生まれたアメリカ合衆国メイン州ボートラ
ント市と昭和59年（1984）に姉妹都市と
なり、これを記念して大森貝塚遺跡庭園がで
きました。



E・S・モース



おおもりのかいづかひ
大森貝塚碑



かいそう ところ
貝層のでた所

じゅうきよあと ところ
住居跡のでた所

品川区立品川歴史館

見学のしおり



おもしろいづか ど き ふかばちがと ど き
大森貝塚土器（深鉢型土器）

品川歴史館へ
ようこそ！

品川歴史館は品川の
歴史にかかわるものを
たくさん展示しています。
じっくり探検して品川の
歴史博士になろう！



第1展示室

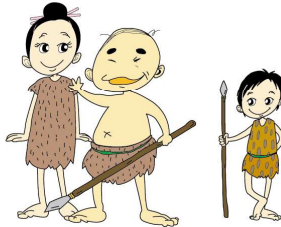
貝塚ってなんだろう？



大森貝塚貝層標本

貝塚とは大昔のゴミ捨て場のあとのこと
です。身を食べた後の貝ガラや、動物
の骨、こわれた道具が捨てられています。貝
塚を調べると当時の人が何を食べて、どんな
道具を使っていたのかがわかります。
上の写真は日本で最初に発掘された、今
から約3000年前の縄文時代の、大森貝塚
の貝層です。何があるがよく見てみましょう。

★大森貝塚の展示は2階にもあります。
また発掘された場所にある大森貝塚遺跡庭園にも
行ってみましょう。



大がめ 海をわたる

大がめは水や食べものを入れるなど、
色々な目的で使われました。写真の大
がめは、品川区の御殿山で発見されました。
今から約600年前に常滑（現：愛知県常
滑市）で作られたもので、船で全国各地に運
ばれました。この頃の品川は多くの船が出入
りする港としてにぎわっていて、常滑から品
川まで船で運ばれたと考えられています。
第1展示室の年表「品川のあゆみと日本」
のイラストを見ながら、大がめが運ばれたこ
ろの様子を想像してみましょう。



御殿山から見つかった中世のお墓と供養塔

宝篋印塔

板碑

五輪塔

常滑焼の大がめ

第1展示室

江戸の出入り口 品川宿

宿場は人や物が行きがい、旅人が泊る
宿がありました。品川は江戸から京都
に向かう東海道の最初の宿場であり、また江
戸から近く、お花見や潮干狩り、紅葉狩りな
ど日帰りで遊びに来る場所でもありました。
そのため品川宿は旅籠屋（旅館）や食べ物屋な
どが建ちならび、大変にぎわいました。第1
展示室には品川宿の模型が、2階には旅籠屋
の座敷を再現したテッキがあります。



歌川広重（初代）東海道五拾三次之内 品川 日之出

お殿様のお屋敷

江戸時代、品川には大名の屋敷がたく
さんありました。その多くは下屋敷
というお殿様が休む屋敷で、広い敷地の中
には立派な庭が造られていました。第1展
示室には現在の戸越公園にあった熊本細
川家下屋敷の模型があります。また仙台坂
にあった仙台的伊達家下屋敷跡（現：東大
井4丁目）から発掘された道具や、ベット
と思われる犬の骨も展示しています。

大井の桜

品川の御殿山から大井にかけての地域に
は、お寺や個人の家を中心に多くの桜
が植えられ、将軍、お殿様の奥方から庶民ま
でたくさんの人たちが訪れていました。大井
の西光寺（現：大井4丁
目）には、「夜になると子
どもに化けて遊んだ」と
いう言い伝えをもつ見桜
が一株残されています。
江戸時代から続く桜です。



西光寺の見桜
アクリル標本

海とくらし

海に面した品川の人々は、昔からその
恵みを受けて生活していました。江
戸時代には将軍に魚を納める8つの漁村（御
菜御着八ヶ浦）のうち、品川浦（現：東品川
1・2丁目）と御林浦（現：東大井1・2丁目）の2
つが、現在の品川区内にありました。また、品
川から羽田にかけての海では海苔が作られ、
鮫洲や天主洲で採られ
た海苔は将軍に納められ
ていました。しかし埋立
てや水質汚濁などによつ
て、昭和38年（1963）
に漁業はおこなわれな
くなり、海苔も作られな
くなりました。



桁舟の模型

第2展示室

近代品川の工業

鉄道は明治5年（1872）、新橋と横浜
の間を走りますが、その前から仮開
業という形で品川と横浜の間を走っていまし
た。目黒川沿いでは、日本で初めての洋式ガ
ラス工場である品川硝子製造所や後に東京駅
で使用されたレンガを作った品川白煉瓦工場
などの工場が明治から大正
時代に作られました。そ
の後、大井町駅のまわり
や在原地区に入々が集ま
り、住宅地や商店街がで
き、品川は大きく発展し
ていきました。



金赤色桜文花瓶
（品川硝子製造所産）

太平洋戦争と品川

昭和16年（1941）に始まった太平洋
戦争が長びくと、日本は空襲の被害を
受けるようになりました。なかでも在原地
区（現在の在原地区）は、広い範囲が空襲の被
害を受けました。このような中、空襲の被害
を避けるため、地方に避難する疎開が行わ
れました。地方に親せきや知人がいない子
ども達は、学校ごとに疎開をしました。品川
では多摩地域や静岡県、富山県、さらには青
森県へ、1万1000人以上の子ども達が、
1年以上も両親と離れて、疎開先で生活を
しました。



品川区での防空演習の様子



疎開先での生活を描い
た児童の絵



焼夷弾

模型をじっくり見てみよう！

第1展示室の真ん中にある品川宿の模型は、
行きかう人々やお店の中の様子が細かく作ら
れています。どんな人がいるか、模型をよく
見てみましょう。

どこにいるのか
探してみよう



何のお店かな？



何をしているのかな？



子どもの足元に注目！